

## 「文化芸術の振興に関する基本的な方針」（第4次基本方針）の 実現に向けた今後の方向性と主な具体的取組

本資料は、第4次基本方針に示す「我が国が目指す『文化芸術立国』の姿」のそれぞれの項目の実現に向けて取り組むべき方向性や、平成28年度から新たに取り組もうとしている施策、今以上に強化しようとしている主な施策について整理したものを以下に示す。（記載の施策内容については概算要求中であるため、今後、変更が生じうる。）

（1）子供から高齢者まで、あらゆる人々が我が国の様々な場で、創作活動へ参加、鑑賞体験できる機会等を、国や地方公共団体はもとより、芸術家、文化芸術団体、NPO、企業等様々な民間主体が提供している。

### ①全国さまざまな場で創作活動への参加・鑑賞体験ができる機会を提供する

- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、日本全国津々浦々で文化プログラムの実施を推進し、日本の魅力を発信するため、これまで劇場・音楽堂等が本事業を通して培い自主企画として制作してきた公演等を活用し、全国各地を巡回することで、外国人も鑑賞できる実演芸術を提供する。

劇場・音楽堂等活性化事業（実演芸術巡回公演支援事業）

（H28要求額 201百万円（新規）（3,350百万円の内数））

- ・映画のバリアフリー字幕や音声ガイド制作支援、優れた芸術作品の試行的展示会等の実施や調査研究を行うことにより、障害者の芸術活動の振興を図る。

メディア芸術祭等事業（調査研究部分）（H28要求額 10百万円（新規））

日本映画製作支援事業、アニメーション映画製作支援事業（字幕制作部分・音声ガイド制作部分）  
（H28要求額 125百万円（音声ガイド制作部分75百万円は新規））

戦略的芸術文化創造推進事業（H28要求額 431百万円の内数（H27予算額401百万円））

### ②国や地方等の文化芸術事業の実施体制を強化する

- ・文化庁と独立行政法人日本芸術文化振興会が連携し、効果的な施策が実施できるよう、振興会で試行的に取り組んできた日本版アーツカウンシルの機能を本格導入し、振興会における実施体制（※）を強化する。

※ POの一部常勤化及び事務体制の充実を図り、現在の体制を強化。

日本版アーツカウンシルの本格導入（（独）日本芸術文化振興会運営費交付金）

（H28要求額 200百万円（新規））

- ・地方公共団体が企画する地域の文化資源等を活用した文化芸術活動や、文化施策推進体制の構築を促進する取組等に対する支援（※）を行い、文化芸術による地域活性化、地域の国際発信、インバウンドの増加、文化事業の企画・実施能力の向上を推進する。（別添2参照）

文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

（H28要求額 3,296百万円（H27予算額 2,621百万円））

※ 地方公共団体において、専門性を有する組織を活用した文化芸術施策の企画・遂行、地域の文化芸術活動への助成、調査研究等を実施する体制の構築を促進する取組を支援する。

上記事業中、地域における文化施策推進体制の構築促進事業（H28要求額 105百万円（新規））

- ・文化プログラムの実施に際し、自治体に、専門的知識を有し地域の文化力プログラムを統括するコミッショナーの配置を促す。
- ・全国各地の文化芸術の取組を支援又は実施する、「文化芸術アソシエイツ（仮称）」を文化庁が認定し、地域の主体的及び要請に応じた積極的な活動を推進する。
- ・「文化芸術創造都市」の取組を促進するための全国的ネットワークを充実・強化するため、各地域毎の会議の充実や、ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市間の連携を強化する。

文化芸術都市推進事業（H28要求額 22百万円（H27予算額 15百万円））

- ・分野の特性に応じた舞台芸術創造活動に対する新たな助成システムの導入や、文化プログラムの推進等に対応した芸術団体の機能強化への支援を行い、我が国芸術団体の水準向上と、より多くの国民に対する優れた舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。

舞台芸術創造活動活性化事業（H28要求額 4,133百万円（新規））

### ③文化芸術を次世代へ継承する

#### a) 文化財の活用

- ・2020年までに全国各地に「日本遺産」を100件程度認定するとともに、「日本遺産」を通じた地域活性化や、日本文化を国内外に戦略的に発信する。  
日本遺産魅力発信推進事業（H28要求額 1,699百万円（H27予算額 807百万円））
- ・ユネスコ無形文化遺産の登録実現に向け、新たに候補案件に関する調査、候補案件・既登録案件に関する広報等を実施する。  
ユネスコ無形文化遺産戦略的登録等推進事業（H28要求額 11百万円（新規））
- ・地域の多様で豊かな文化遺産を活用した、伝統行事・伝統芸能の公開・後継者養成、古典に親しむ活動など、特色ある総合的な取組に対する支援を拡充する。  
文化遺産を活かした地域活性化事業（地域の文化遺産次世代継承）  
（H28要求額 2,296百万円（H27予算額 1,869百万円））
- ・経済的に自立した文化財建造物管理活用の実現を目指し、民間活力による文化財保存活用を推進する事業を支援し、民間活力支援のための融資等の仕組みを検討する。

NPO等による文化財建造物の自立型管理活用支援事業

（H28要求額 12百万円（新規））

#### b) 文化財の保存・継承

- ・伝統的建造物群保存地区を社会基盤として捉え直し、定期的な修理、耐震対策や防災施設等の整備を一体的・総合的に実施し、災害に強く、魅力的なまちづくりを実現する。

伝統的建造物群基盤強化（H28要求額 1,516百万円（新規））

- ・重要文化財（建造物）の軸部等の構造に影響を及ぼさない壁や屋根等の外観及び公開範囲の仕上げに関わる部位を、健全で美しい状態に回復する事業に対し支援する。

美しい日本探訪のための文化財建造物活用事業（H28 要求額 200 百万円（新規））

- ・登録文化財や重要伝統的建造物群保存地区の耐震対策事例及び重要文化財の耐震対策構造実験データ等の収集，分析，普及啓発を実施し，耐震対策を推進する。

文化財建造物耐震対策普及促進事業（H28 要求額 8 百万円（新規））

- ・近現代建造物緊急重点調査をさらに充実させるとともに，近代化遺産等に対して重点保存修理を行うとともに，国宝・重要文化財建造物の保存修理等を一層強化する。

建造物の保存修理等（H28 要求額 10,796 百万円（H27 予算額 10,206 百万円））

- ・国内外への散逸や劣化等の危険性が高まっている国宝・重要文化財等を，国が緊急的に買い上げ，適切な環境下で保存活用を図る。

国宝重要文化財等の買い上げ（H28 要求額 1,880 百万円（H27 予算額 1,370 百万円））

- ・地方公共団体，民俗文化財の所有者・保護団体等が行う民俗文化財調査，重要有形民俗文化財の保存修理や防災設備の設置，重要無形民俗文化財の伝承者養成や用具の修理・新調等の補助を行う。

民俗文化財の伝承等（H28 年度要求額 526 百万円 H27 予算額 250 百万円））

- ・国立のアイヌ文化博物館（仮称）の基本設計に基づき，実施設計を実施するとともに，展示資料，収蔵資料の収集，博物館ネットワーク構築の準備，地元及びアイヌ関係者等との調整などの運営準備を推進する。

国立のアイヌ文化博物館（仮称）の整備及び運営準備

（H28 要求額 357 百万円（H27 予算額 248 百万円））

### c) 人材育成

- ・子供たちが親とともに，民俗芸能，工芸技術，邦楽，日本舞踏，茶道，華道などの伝統文化・生活文化を計画的・継続的に体験・修得できる機会を提供する取組に対する支援を拡充する。

伝統文化親子教室事業（H28 要求額 1,482 百万円（H27 予算額 1,200 百万円））

- ・「創造力・想像力」豊かな子供の育成に資する「子供の文化芸術体験」については，学校行事等における各種取組や地方公共団体の自主事業等も含め，平成32年度までに義務教育期間中に毎年1回以上，文化芸術の鑑賞・体験ができるような環境を整えることを目指す。国としては義務教育期間中に3回達成するための予算を段階的に確保できるよう努める。

文化芸術による子供の育成事業（H28 要求額 5,236 百万円（H27 予算額 5,112 百万円））

(2) 全国の地方公共団体，多くの文化芸術団体，文化施設，芸術家等の関係者により，世界に誇る日本各地の文化力を生かしながら，2020年東京大会を契機とする文化プログラムの全国展開等がなされている。

### ①文化プログラムの推進や，推進のための体制を整備する

- ・「文化プログラムの実施に向けた文化庁の基本構想」の発表（平成27年7月）
- ・平成28年10月のスポーツ・文化・ワールドフォーラムをキックオフとし，「文化カプロジェクト（仮称）」を開始する。
- ・「文化カプロジェクト（仮称）」を推進するための実施体制，情報発信体制を整備するとともに，以下の3つの枠組みで「文化カプロジェクト（仮称）」を進める。（別添1参照）
  - 日本の顔となるクリエイティブな文化芸術活動（リーディングプロジェクト）の取組を推進する。  
リーディングプロジェクトの推進（H28要求額 1,308百万円（新規））
  - 国が地方公共団体，民間とタイアップした取組を推進する。  
国が地方自治体，民間とタイアップした取組の推進  
（H28要求額 14,859百万円（H27予算額 12,564百万円））
  - 民間，地方公共団体主体の多様な取組も文化プログラムとして認定するとともに支援する。
- ・「文化カプロジェクト（仮称）」の実施に当たっては，文化ボランティアの一層の参加を進める。

### ②国や地方等の文化芸術事業の実施体制を強化する（再掲：（1）②）

(3) 日本全国津々浦々から，世界中に各地の文化芸術の魅力が発信されている。東日本大震災の被災地からは，力強く復興している姿を，地域の文化芸術の魅力と一体となって，国内外へ発信している。

### ①日本の多彩な文化芸術を国内外へ発信する

- ・文化プログラムの多言語ポータルサイトを構築する。  
リーディングプロジェクトの推進（H28要求額 1,308百万円（新規））
- ・SNS等を活用し，「文化カプロジェクト（仮称）」の取組を発信する。
- ・（再掲）2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い，日本全国津々浦々で文化プログラムの実施を推進し，日本の魅力を発信するため，これまで

で劇場・音楽堂等が本事業を通して培い自主企画として制作してきた公演等を活用し、全国各地を巡回することで、外国人も鑑賞できる実演芸術を提供する。

劇場・音楽堂等活性化事業（実演芸術巡回公演支援事業）

（H28要求額 201百万円（新規）（3,350百万円の内数））

- ・（再掲）地方公共団体が企画する地域の文化資源等を活用した文化芸術活動や、文化施策推進体制の構築を促進する取組等に対する支援を行い、文化芸術による地域活性化、地域の国際発信、インバウンドの増加、文化事業の企画・実施能力の向上を推進する。

文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

（H28要求額 3,296百万円（H27予算額 2,621百万円））

## ②国際文化交流を推進し、諸外国との相互理解を促進する

- ・ アーティスト・イン・レジデンス（AIR）活動の機能を強化し、国内外のAIR団体等の連携協力関係を強化していくことで、国内外のアーティスト等との双方向の国際文化交流が継続的に行われる状況を創出する。

アーティスト・イン・レジデンス活動を通じた国際文化交流促進事業

（H28要求額 141百万円（新規））

- ・ 災害や紛争により被害を被っている海外の文化遺産の保護のための緊急的な専門家派遣、諸外国の文化遺産分野における人材育成への協力事業、無形文化遺産保護に係る調査及び国際会議、文化遺産国際協力コンソーシアムの運営等を実施する。ネパールの震災及びシリアの紛争による遺跡の破壊や盗掘に対応するための緊急支援を拡充する。

文化遺産保護国際貢献事業（H28要求額 210百万円（H27予算額 183百万円））

## ③文化発信を支える基盤を強化する

- ・ 地域の文化財に対する外国人旅行者のニーズに合わせた正確で分かりやすい情報発信や体制整備等の取組を新たにモデル事業として支援する。

文化遺産を活かした地域活性化事業（日本の歴史・伝統文化情報発信推進）

（H28要求額 300百万円（新規））

- ・ 劇場・音楽堂等における外国人向けプログラムの開発や観光関連団体との連携、ウェブサイトの多言語化をはじめとする外国人受入体制整備、諸外国の先進的な事例の導入など、外国人受入のモデルとなる仕組みを構築する。

劇場・音楽堂等活性化事業（外国人受入環境整備委託事業）

（H28要求額 150百万円（新規）（3,350百万円の内数））

- ・ 日本に住む外国人が日本での生活に必要な日本語を習得できるよう、地域の優れた取組に対する支援を行うとともに、日本語教育のノウハウを有していないために教室が開設できていない自治体に対して、アドバイザーの派遣や人材育成等を支援する「地域日本語教育スタートアッププログラム」を新たに実施する。

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

（H28要求額 151百万円（H27予算額 150百万円））

(4) 2020年東京大会を契機とする文化プログラムの全国展開等に伴い、国内外の多くの人々が、それらに生き生きと参画しているとともに、文化芸術に従事する者が安心して、希望を持ちながら働いている。そして、文化芸術関係の新たな雇用や、産業が現在よりも大幅に創出されている。

①新たな地域の魅力や芸術の創出，地域振興，地域課題の解決に活用する

- ・「文化カプロジェクト（仮称）」のリーディングプロジェクトの取組において、地域課題の解決を図る地域創造人材の育成について、先進的取組を行う。

リーディングプロジェクトの推進（H28要求額 1,308百万円（新規））

- ・（再掲）地方公共団体が企画する地域の文化資源等を活用した文化芸術活動や、文化施策推進体制の構築を促進する取組等に対する支援を行い、文化芸術による地域活性化、地域の国際発信、インバウンドの増加、文化事業の企画・実施能力の向上を推進する。

文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

（H28要求額 3,296百万円（H27予算額 2,621百万円））

②観光産業との連携などにより地域経済への波及効果を生み出す

- ・美術館・歴史博物館の情報発信及びユニークベニユーの促進に関する取組への支援を拡充する。

地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

（H28要求額1,337百万円の内数（H27予算額 1,313百万円））

③イノベーションの創出

- ・「文化カプロジェクト（仮称）」のリーディングプロジェクトの取組において、文化芸術と、教育，科学・技術，医療・福祉，サービス分野等との融合によるイノベーション創出を促進する。

リーディングプロジェクトの推進（H28要求額 1,308百万円（新規））

## 趣旨

「文化芸術立国」の実現のために、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会及びラグビーワールドカップ2019の機会を活かすとともに、それ以降も多様な文化芸術活動の発展や、文化財の着実な保存・活用を目指し、組織委員会等と連携して、2016年秋から全国津々浦々で文化プログラムを推進。本年7月に文化庁の基本構想を策定。

文化プログラムを「文化カプロジェクト(仮称)」として推進

## 【「文化カプロジェクト(仮称)」の数値目標】

・20万件のイベント ・5万人のアーティスト ・5000万人の参加 ・訪日外国人旅行者数2000万人に貢献

## 三つの枠組みと推進体制

### ■我が国のリーディングプロジェクトの推進

- ✓日本の顔となるクリエイティブな文化芸術活動
- ✓文化芸術の人材育成の強化、他分野との融合によるイノベーションの創出を促進

### ■自治体、民間とタイアップした取組

- ✓文化財、文化芸術による地域活性化に関する事業等の文化庁事業を推進
- ✓民間や地方公共団体の活動を牽引

### ■民間、自治体主体の取組を支援

- ✓我が国の多様な文化芸術を継承、発展させる全国津々浦々の文化芸術に関する取組を支援

## 28年度概算要求事項（主な事項）

### 1 リーディングプロジェクトの推進 1,308百万円

- ・実行チーム等推進体制の整備、リーディングプロジェクト事業

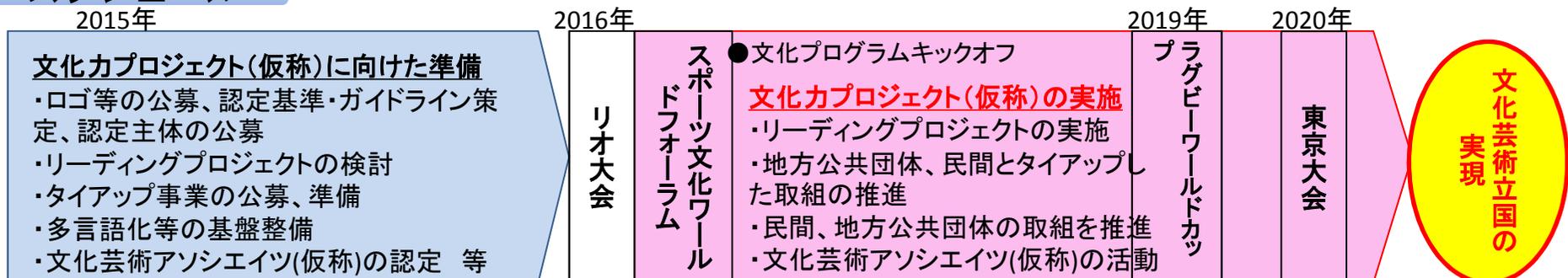
### 2 国が地方自治体、民間とタイアップした取組支援 14,859百万円

- ①国が主体の取組
  - ・メディア芸術祭等の国主催芸術祭の取組
  - ・文化財海外交流展等の国主催の展覧会の取組
- ②地方・民間が主体の取組
  - ・地域の魅力ある文化芸術の取組や担い手の育成等
  - ・芸術団体や劇場・音楽堂等によるトップレベルの舞台芸術活動等
  - ・芸術文化の世界への発信
  - ・地域の核となる美術館・博物館の取組

### 3 文化プログラム推進のための基盤整備 2,478百万円

- ①国立文化施設的环境整備
  - ・バリアフリー、多言語対応、観覧環境の整備
- ②多言語対応等による訪日外国人対応等（一部再掲）
  - ・文化芸術活動、文化財等の多言語化対応

## スケジュール



# 文化プログラムの実施に向けた文化庁の基本構想

～2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした文化芸術立国の実現のために～

## 趣旨

「文化芸術立国」の実現のために、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会及びラグビーワールドカップ2019の機会を活かすとともに、それ以降も多様な文化芸術活動の発展や、文化財の着実な保存・活用を目指し、組織委員会等と連携して、2016年秋から全国津々浦々で文化プログラムを推進

## 文化庁の取り組む文化プログラムを「文化カプロジェクト(仮称)」※として推進

※2021年以降も文化庁が推進するプロジェクト。都道府県・市町村等が文化庁作成のガイドラインに基づき「文化カプロジェクト(仮称)」を認定することを検討。

### 【「文化カプロジェクト(仮称)」の数値目標】

・20万件のイベント ・5万人のアーティスト ・5000万人の参加 ・訪日外国人旅行者数2000万人に貢献

## 文化庁が進める取組の三つの枠組み

### 我が国のリーディングプロジェクトの推進

- ▶日本の顔となるクリエイティブな文化芸術活動の推進(国立文化施設の活用等)
- ▶文化芸術について、人材育成の強化や教育、科学技術、医療・福祉等分野との融合によるイノベーションの創出を促進

### 国が地方公共団体、民間とタイアップした取組の推進

- ▶日本遺産、文化芸術による地域活性化に関する事業等の文化庁事業を推進
- ▶広域展開のプロジェクト、民間や地方公共団体の活動を牽引する事業等を支援

### 民間、地方公共団体主体の取組を支援

- ▶我が国の多様な文化芸術を継承、発展させる全国津々浦々の文化芸術に関する取組を支援

# 七つの戦略と推進体制

## 取組を進める七つの戦略

### 【異分野を巻き込んだオールジャパンによる推進体制】

#### 戦略①: **企業・団体との協働**

企業によるメセナ活動が支援する取組との協働など、企業の資金や人材・ノウハウを活用。

#### 戦略②: **地方公共団体、文化芸術団体等との協働**

地域の優れたプログラムに対する表彰を検討。都道府県等に「文化カプロジェクト(仮称)」を統括するコミッショナーの配置を推進。

#### 戦略③: **組織委員会、オリパラ推進本部や関係省庁、国立文化施設との一体的展開、他分野との連携**

政府関係組織との緊密な連携。教育、医療・福祉、ものづくり、農林水産業、観光等様々な分野と連携。

### 【文化芸術の人材育成・確保、新たな文化芸術の創造】

#### 戦略④: **大学、学生等の参画**

大学の教員、学生等による企画立案・実施、記録・評価。人材育成・イノベーション創出を促進。

#### 戦略⑤: **新たな文化芸術の担い手を支援**

「文化芸術アソシエイツ(仮称)」の認定。将来の地域版アーツカウンシルによる雇用機会を期待。

### 【文化芸術の国内外への発信】

#### 戦略⑥: **あらゆる人々の参加**

文化ボランティア活動の促進や啓発のためのシンポジウム等による機運の醸成。

#### 戦略⑦: **国内外への発信、海外からの誘客**

ポータルサイト等を活用し国内外への広報を展開。

## 取組を進める推進体制

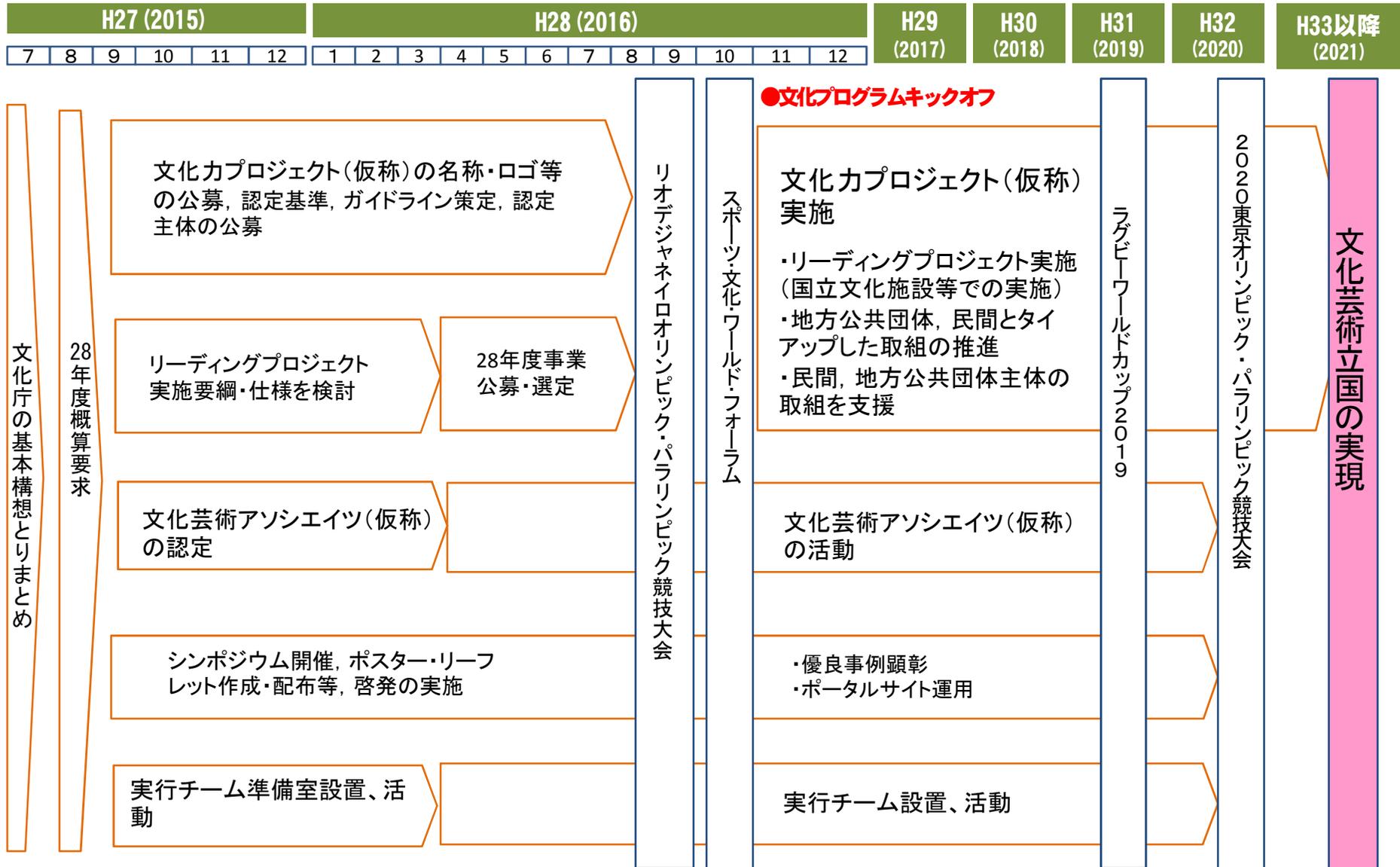
### 【文化庁の推進体制】

○文化庁に実行チームを結成。文化庁長官を顧問とし、文化庁職員、民間出身者等で構成。

○民間から全体を統括するゼネラル・プロデューサーを招き、その下に、広報、企画、地域・大学連携、ファンド・レイジングなど機能別のプロデューサーや文化芸術分野別のディレクターを置く。

○実行チームは、文化庁事業のマネジメントや、組織委員会、オリパラ推進本部や関係省庁、国立文化施設(国立博物館・美術館・劇場等)、地方公共団体、大学、企業・団体等との連携や調整を行う。

# スケジュール



2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会を、スポーツのみならず文化の祭典として、日本全国で特色ある文化活動が行われる大会にするとともに、同大会終了後も文化芸術による地域の活性化など、その成果が継承されるよう、地方公共団体が行う、地域の文化資源等を活用した計画的な文化芸術活動や、全国津々浦々で文化事業を実施するための文化施策推進体制の構築を促進する取組を支援

補助率：1/2を上限に支援

## 支援対象の文化芸術活動

### 文化芸術で地域を活性化する取組

地域の様々な魅力ある文化芸術を再生又は創出し発展させる取組や、大学との連携による文化芸術の創造発展につながる取組をはじめ、地域の文化芸術の担い手の育成につながる取組

【取組例】

- 地域の音楽、踊り、演劇の公演、ワークショップ、アウトリーチ
- メディア芸術の展示、地域の文化資源を活用した現代アート展
- 地域の大学教員、学生、卒業生等によるオペラ、オーケストラ公演、美術展

支援件数：  
都道府県 33事業  
市町村 78事業



石川県「吹奏楽の日」

### 地域の文化施策推進体制の構築を促進する取組 新規

専門性を有する組織を活用した文化芸術政策の企画立案・遂行、地域の文化芸術活動への助成、調査研究等を実施する体制の構築を促進する取組への支援や、「文化カプロジェクト(仮称)」の認定・統括を行うコミッショナーの配置、「文化芸術アソシエイツ(仮称)」の活用を促進する取組

支援件数：7事業

【支援内容】

- 当該組織の運営費や調査研究費等

### 訪日外国人が鑑賞・体験できる取組

多言語対応等により日本人に限らず訪日外国人でも鑑賞・体験できる文化事業

支援件数：  
都道府県 4事業  
市町村 13事業

### 新国立劇場との連携公演

新国立劇場が制作する世界水準の公演の鑑賞事業や、新国立劇場において地域のプロの芸術団体が行う公演

支援件数：10事業

### 文化芸術創造都市の取組

文化芸術の持つ創造性を地域振興、観光・産業振興等に活用し、地域課題の解決に取り組む文化芸術創造都市の取組

支援件数：9事業

【取組例】

- 国際的な芸術祭、音楽祭、写真展



札幌国際芸術祭2014オープニングプログラム 旋回するノイズ  
提供：創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会

### 文化の力による心の復興の取組

東日本大震災の被災地における、実演芸術の鑑賞等を通じた心の安らぎと活力の向上を図る取組

支援件数：19事業

効果

文化芸術による地域活性化

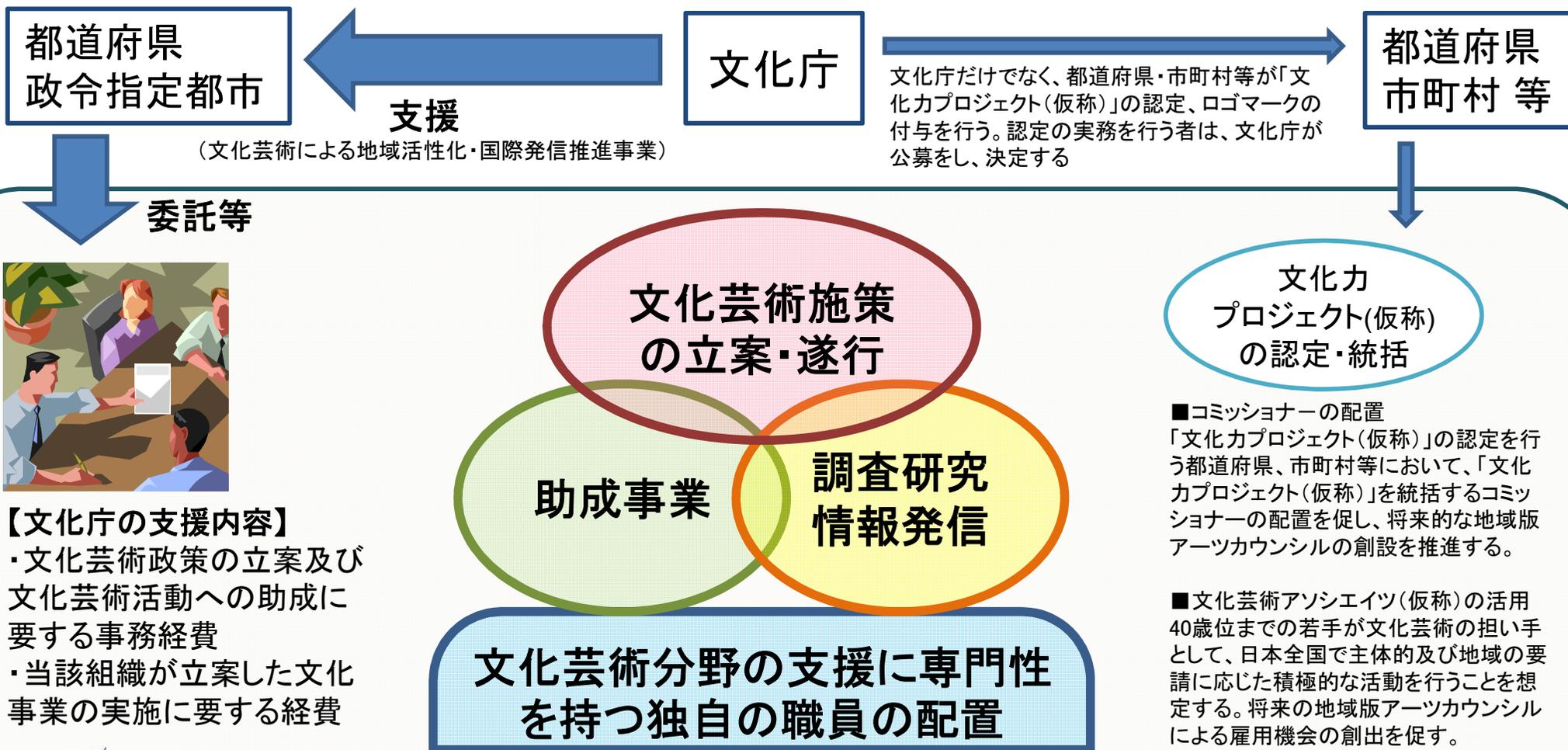
地域文化の国際発信

インバウンドの増加

文化事業の企画・実施能力の向上

# 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業 (地域の文化施策推進体制の構築促進事業)

2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会における文化プログラムの実施に向け、全国津々浦々で文化事業を実施するための、体制の構築を促進する

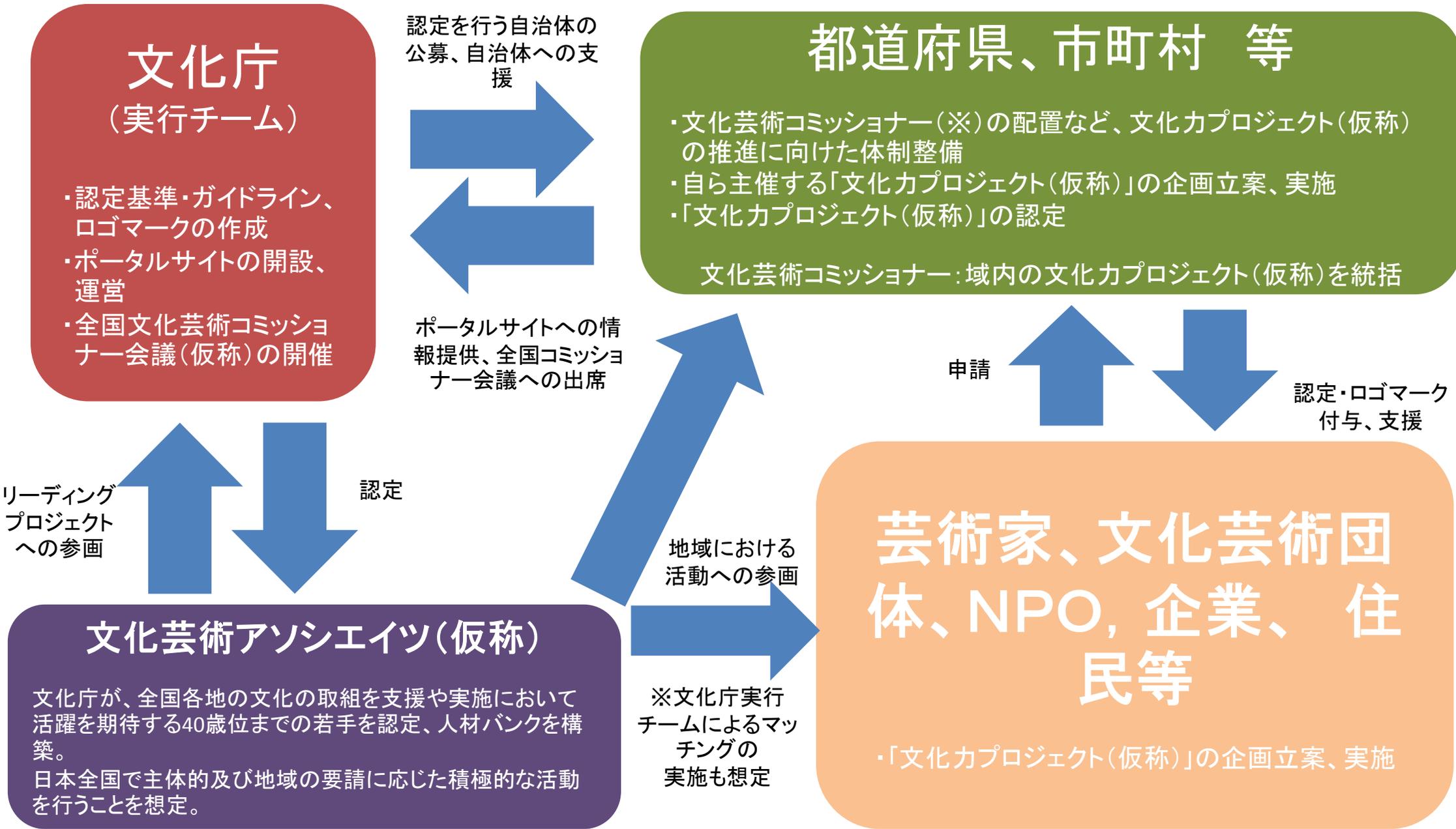


**効果**

地域の文化芸術施策の立案機能が向上し、  
全国津々浦々で特色ある文化事業が実施され、国内外の人々を魅了

# 地域における「文化カプロジェクト(仮称)」の推進(認定関係)について

(本資料は、7月発表の基本構想をもとにしたイメージ図であり、今後の具体化に当たって内容の変更があり得る。)



(注) 地域における活動に参画する文化芸術アソシエイツ(仮称)に対する謝金は受け入れ先の負担(※文化庁支援事業の補助対象)を想定。